

## 広島高速5号線シールドトンネル工事の進捗状況等について

### 1 要旨・目的

広島高速道路公社が事業を進めている広島高速5号線のシールドトンネル工事の進捗状況等について報告する。

### 2 現状・背景

シールドトンネル工事については、牛田地区の住宅地区間の掘削が完了し、引き続き牛田地区において地表面変位の抑制などの対策を取りながら、安全・安心を第一に工事を進めている。

### 3 概要

#### (1) 対象者

—

#### (2) 事業内容（実施内容）

##### ア 牛田地区におけるシールドトンネル工事の掘削状況

シールドトンネル工事延長約1,400mのうち、今月15日時点で約1,050m地点に到達している。牛田地区としては残り約32mとなっており、6月頃に通過する見込みである。

また、学識経験者で構成する施工管理委員会を5月8日に開催し、地表面沈下の収束を判断するための計測方法等について、意見を聴取する。



##### イ シールドトンネル工事の契約変更

令和4年12月に受注者から中央建設工事紛争審査会に調停申請されていたことについて、審査会から公社代理人弁護士に対して調停打ち切りの通知\*（3月27日付け）があった。

公社と受注者は、「責任を持って工事を継続する」ことを改めて確認したところであり、これまでと同様に安全・安心を第一として早期完成を目指し工事を継続していくこととしている。引き続き工事費の精査を進めていくながら、契約変更については、契約約款に則って必要な手続きを進めていく。

※建設業法第25条の15第1項によると、調停による解決の見込みがないと認めるときは、調停を打ち切ることができる」と規定されている。

##### ウ 今後の工事予定

施工が完了している中山側のNATMトンネルと現在施工中のシールドトンネルを接続するためのトンネル接続工事について、シールドトンネル工事の受注者である大林・大成・広成建設工事共同企業体と契約したところであり、今後着手していく。

#### (3) スケジュール

—

#### (4) 予算（単県）

令和6年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 645百万円

#### (5) 今後の対応

引き続き、地表面変位等を注視しながら安全・安心を第一に掘削を進めるとともに、住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう、事業主体である公社や広島市と連携し、適切かつ丁寧な対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。